

感謝

平成二十三年十二月二十二日
平成二十四年二月二十日

愛寿会・仁生園・第二仁生園へのご協力ありがとうございます。

いつもご協力をいただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者の皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となって誠心誠意努めて参ります。

何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。

略儀ながら、お礼状に替えさせていただきます。

金員・物品のご寄附

- 北杜市 山梨県更生保護女性連盟 峡北支部長坂地区 様
- 北杜市 山梨県年金受給者協会 北杜第一支部 様
- 北杜市大泉町 浅川 萬亀夫 様
- 北杜市大泉町 小宮山 光彦 様
- 北杜市小淵沢町 進藤 玲子 様
- 韮崎市本町 鈴木生花店 様
- 韮崎市中田町 小野 慶子 様
- ボランティア活動 保坂 多枝子 様
- 北杜市高根町 北杜市後援会へのご協力
- 北杜市長坂町 朝日 清子 様
- 北杜市大泉町 由井 友男 様
- 北杜市大泉町 北杜市大泉町 様

愛寿会後援会役員会開催

二月九日(木)午前十一時から仁生園会議室において見出しの役員会が開かれました。

中山賢一後援会長から募金活動への協力お礼のあいさつがあり、小澤澄夫理事長から仁生園・第二仁生園の運営が順調に推移していること等の報告がありました。

会議の主な内容は二十四年度予算をどのように編成するかでありました。

夏祭りへの援助、職員のレベルアップにつながる研修会・講習会等への支援、敬老の日やクリスマスなどの慰安会に財政援助すること、特に職員の労力軽減、利用者へのサービス向上につながる新鋭介護機器の試行事業に重点投資すること等の方針が決まりました。今春開催の後援会総会で本決まりになります。それに先立ち平成二十四年度愛寿会予算に計上することも了承されました。



山梨県年金受給者協会北杜第一支部様 来園

二月八日(火)山梨県年金受給者協会北杜第一支部の方々十名が来園され、タオル・石けん・ボディソープ等を頂きました。ありがとうございました。



利用者・職員から後援会の皆様に感謝

介護労働合理化設備整備事業について

平成二十三年度に、利用者の皆様方の快適性の増進に役立ち、ひいてそれが介護労働の軽減につながる設備を検討し、先ずは後援会費で購入のうえ試用、本格的に整備の必要があると判断したとき愛寿会予算で購入する…との仕組みをお考えいただきました。予算も二百万円計上していただきました。

その使途ですが、介護現場では、「利用者の快適性の向上が第一。最新で、かつ、メンテナンスが



最少で済む空気清浄機の導入を…」ということになりました。

そこで、去る一月十三日A社製品に目星をつけ、神部司、石原公興両部長、大串リーダーの三名で、近県の設置先を調査して

てきました。

二月からA社の無償提供のもと一―三班で試用に入りました。二月二十一日(火)からは現在の機器より大型の方が適切とするメーカー意見のもと三班で写真のように最新の改良型で性能調査に入りました。

こうしたことができるのも後援会の皆様のご支援のおかげと重ねてお礼申し上げます。

愛寿会のサービスに何かご意見・ご要望がございましたら、また、施設見学等のご希望がございましたら左記までご連絡ください。
仁生園 電話 0551(32) 3340
第二仁生園 電話 0551(32) 8270

愛寿会だより



2月10日(金) 痰の吸引等に関する技術講習会 (仁生園会議室)

3月号
第153号
平成24年
3月1日発行

痰の吸引等に関する技術講習会

ご高齢の皆様が急激に増えています。国は在宅支援を充実すると共に民間によるケア付き住宅建設の推進等を図っていますが、これだけでは多様な需要に応えることはできません。最終的には特養ということとなります。つまり、最重度者の抛り所です。そうなりますと特養としてはこれに対応できる

知識・技能を持たなければなりません。この関係法令が改正されたこと等に伴い、一定の講習を受けた介護職員は痰の吸引、胃瘻(いろいろ)の管理と



2月14日(火) 溝口医師を招き緊急安全委員会 (仁生園会議室)

いった行為がでるようになるました。愛寿会だよりの二月号でもお知らせしましたように三月三十一日までに愛寿会の介護職員全員がこの資格を取得するよう勤務時間が終わってから集中的に講習を受けています。(上段の写真)

講習会・研修会・検討会が目白押し
全職員ねじり鉢巻きでがんばっています

情報頻りです。昨年の愛寿会だより十月号以降毎号で面会者の皆様に手洗いの励行、マスクの着用等をお願いして来ましたが、二月十四日(火)には溝口医師をお招きし緊急安全委員会を開き、万全を期することにになりました。(中段の写真・手指消毒等のお願い 次頁)

高齢者権利擁護伝達講習会

愛寿会では職員のレベルアップを目指し、県内外で行われる研修会・講習会には多忙な業務の間を縫って必ず参加するようにしています。そして日を改め全職員対象の伝達講習会開催となります。

一月三十一日(火)に甲府市山梨県社会福祉会館で高齢者の権利擁護に関する研究会が開かれ、北原



2月15日(水) 高齢者権利擁護伝達講習会 (仁生園会議室)

すづか、内藤千春の両サブリーダーが参加しました。身体拘束は不可、不適切対応の改善、成年後見人制度の活用等の問題が中心だったとのこと。

二月十五日(水)上の写真のようにお二人を講師に伝達講習会が行なわれました。

インフルエンザ・ノロウイルス予防のための緊急安全委員会開催
県内各地でインフルエンザ・ノロウイルス発症の

仁生園 誕生会

二月七日（火）誕生会が行われました。職人さん握りたての



「お寿司」に、皆様大変喜ばれ会話も弾んでいらつしやいました。

また、北杜市大泉町の「谷桜酒造」様から頂きました甘酒も振る舞われました。「谷桜酒造」様ありがとうございました。

あなご・エビ・タマゴ：一番人気は何と言つてもマグロでした。

寿美浩会（すみひろ会）の方々による踊りも披露されました。



両園の非常電源装置強化事業が終わりました

第二のプリンクラー設備補強工事も…

東日本大震災からほどなく満一ケ年になります。その際両園とも何の被害もなく、特別の混乱もありませんでした。とはいっても仁生園の二号館の非常電源は照度が低いうえ三十分経てばストップ



2月24日（金）午後6時半非常電源下での訓練…「明るさは合格」との評でした。（仁生園 2,3 班）

になるシステムで、至急改善しなければとの思いを強くしました。第二仁生園の非常電源はプリンクラーと併用のものですから自在性は更に劣ります。第二の場合本体と別時期に別棟で建てた

倉庫にプリンクラーを設置した方が安全との反省も得ました。

そこで九月の定例評議員会・理事会にお諮りし、以上の改良工事費として九百余万円を計上していただきました。その後指名競争入札を実施、蕪崎市の関東電設株式会社が税込み六百八十二万五千円で施行することになりました。暮れの十二月二十八日に着工、工事期限前の二月二十七日に完成しました。

非常電源の下 早速避難・介護の訓練実施

工事完了に先き立ち二十四日（金）午後六時半から、二、三班の副園長を初めケアワーカー、それを利用者の皆様多数が参加のもと、右の写真のように

非常時の避難手続きの確認、介護業務の進め方等について実地訓練を行いました。順調に進めることができ一安心でした。

なお、第二仁生園では三月中旬に非常用電源の下での避難訓練及び介護訓練を行うよう計画中です。

「面会の皆さま

インフルエンザ・ノロウイルスの

予防のため、手指消毒に

ご協力をお願いいたします。

（両園共通）

- 一、面会はなるべく午前九時から午後五時の間をお願いいたします。
- 二、出入りは正面玄関からのみとして下さい。
- 三、必ずマスクを持参して下さい。お忘れの方は事務室に申し出て下さい。
- 四、入るとすぐのところに消毒液があります。手指をていねいに消毒して下さい。
- 五、面会に訪れたことを事務室にお話し下さい。その際、体調の悪い方にはご遠慮いただくことがあります。
- 六、それからワーカー室に向かい、来意をお伝え下さい。
- 七、面会のときにはマスク着用を基本にお願いいたします。

第二仁生園に念願の福祉車両導入

日中活動にも利用できるとみんな大喜び

第二仁生園の利用者の皆様はほとんど全員が車椅子で日常をお過ごしです。数名の方はストレッチャーでなければ移動できません。また、甲陽病院を初め韮崎、甲府、富士見などの病院にほぼ毎日送り迎えがあります。



それだけに職員も利用者の皆様も最新の福祉車両があれば：と喉（のど）から手が出る思いでした。

今年に入って県に障害者自立支援基盤整備事業補助金を申請したところ認められました。所要額の全部が補助される制度です。

第二仁生園の「節分」

二月三日（金）節分の日、赤鬼・青鬼を目がけ「鬼は外！福は内！」と豆まきをしました。威勢よく登場した鬼も、皆さんの元気な声に：「ごめんなさい」と逃げて行つてしま



いました。

外は、まだ雪がいつぱいで、春の訪れはしばらく先になりそうですが、体につけて楽しく過ごすようみんなで心がけて参ります。

第二仁生園の聖バレンタインデー

西暦二百六十年代に殉教したローマの聖バレンタインを想い起こす趣旨からヨーロッパでは祭日になっているとのこと。また、愛する人に贈り物をする日にもなっています。第二ではみんなでチョコレート菓子の菓子をつくり食べて楽しみました。



山梨県共同募金会からの洗濯機で日中活動

平成二十四年度は県共募のご配慮により仁生園生活支援ハウス「こあらま」で三台、第二仁生園で二台の洗濯機を更新することができました。旧型とは比べものにならないほど効率がよく両園とも大助かりです。

第二仁生園では利用者の皆様が日中活動に利用したりしています。



東日本大震災から一年

岩手県陸前高田市に応援に行つて来ます

平成二十三年三月十一日午後二時四十六分東日本大震災が発生しました。あれから早くも一年になります。現地の皆様のご健勝と復旧、復興を心からお祈りしたいと思います。

仁生園では昨年六月から七月にかけて宮城県気仙沼市に四人が応援に出動しました。

今度は第二仁生園の出番です。二月二十六日から三月四日まで矢吹淳生活支援員、三月二十五日から四月一日まで平島江一生活支援員が陸前高田市の身体障害者支援のため出張することになりました。二職員とも、「第二仁生園を代表してがんばつて来ます」と張り切っています。

愛寿会だより四月号で現地の状況など報告の予定です。

そこで昨年の十一月指名競争入札を行なったところ長坂町の八ツ麓自動車落札しました。引き続きストレッチャー、スリーモーターベッドなど付属品の整備を急ぎ、二月二十八日（火）納車されました。ストレッチャー一名、車椅子一名、職員六名、計八名などいろいろなパターンで乗車できる最新鋭車です。かかった費用は四百四十万円でした。